

簡単なこととして意外としてない

ある日、私は父と地域の水道のメーターを見てまわっていました。そのメーターに出た各家庭で使用した水の量の数値をメモする、という作業をしていて思いました。「あれ、徳谷家って周囲の家より使ってる水の量多くない。」と。五人家なので普通だと父に言われましたが、水は限りある資源です。使っている水の量を知れたこの機会に、節水をしようと考えました。

節水の方法を調べる前に、まず日本での一人あたりの一日の水の使用量を調べてみました。あくまで平均なのでライフスタイルなどにより変わりますが、二〇〇〜三〇〇リットル位だと言われています。また、日本人の一人あたりの年間の水の使用量は世界平均の約二倍という記事を見つけました。二倍ということ、この半分の量で生活していると知り、

山添村立山添中学校 三年

徳谷 優撫

自分がどれだけ水を無駄に消費しているかを目にするのができました。さて、その無駄づかいを減らすために節水方法を調べます。節水と言ってもたくさんあり、お金を使うものや私のような子どもでも簡単にできるものがあります。もちろん今回のは後者を中心に調べました。まずはよく耳にすると思います。水を流しっぱなしにしないことです。例えば、ハミガキのときにコップに水を注いでおく、顔を洗っている間は水を止めるなど、とても簡単で今すぐできることです。しかし、水を流しっぱなしにするのと一分間で約十二リットルも水を流してしまうそうです。人が一日に取るべき水分量は約三リットルなので四日分位の水量をハミガキや洗顔のときに流してしまっています。これを先ほど述べた方法、たったそれだけのことをするだけで防げます。正直これを知ったとき

に、なぜもっと早く調べなかつたんだと後悔しています。次に紹介する節水方法は、トイレについてです。トイレの水を流すレバーには「大」と「小」という文字が書かれています。はずです。実は大は小で流すよりも一〜三リットルほど多く流れているそうです。私は昨年あたりから実践していますが、これ程水量に差があるとは思っていませんでした。なので意味のあることだと知ってホッとしました。また、最近ではトイレのタンクに取り付けるだけで水の使用を減らしてくれるグッズや、節水型トイレというものがあるようです。この節水型は大を1回流すのに使う水は四〜6リットルで、二〇〜三〇年ほど前と比べると約半分の量で済むそうです。技術の進歩とは速いものですね。最後に、食器を洗う際の節水方法です。まず、洗う前に油污れなどがついていたときはティッシュやキッチンペーパーなどで拭き取ります。そうすることで時間短縮ができますし、洗剤を使う量が減るためすすぐ水の量が減ります。また、私は着ななかつた服のはぎれが使えるというのはきいたことがあります。ですが私が調べたサイ

トでは、新聞紙や牛乳パックでも代用できると述べていました。牛乳パックで本当に拭き取れるのか、と衝撃を受けました。また、私も行っていることで、全部洗い終えてから全部をすすぐというものです。一つ洗ってすすぐよりも効率的ですし、水を流している時間も短くなります。

誰もが知っていて、自分のような子どもも今すぐできるようなことってたくさんありますよね。でも、意外とできてなかつたりするものです。私も調べた中で知っていることはいくつもありましたが、ほとんどできていませんでした。限りある資源をどう使うかは自分次第。だから私は、この資源を大切に使うと決めました。